

東北自治研修所「風水害を想定した災害対応コース」で講師をつとめました (2022/1/19-21)

テーマ：東北地方、行政研修、災害対応、災害伝承
場所：東北自治研修所（宮城県富谷市）

1月19日（水）～21日（金）の3日間、東北自治研修所にて「行政課題研修『風水害を想定した災害対応コース』」が開催され、24名の東北エリア内の行政職員が受講しました。同研修所は、東北地方の地方公共団体の職員を対象にした研修機関です。

本コースは、近年、風水害が東北地方でも多発してきていることを受けて、今年度から新たに開設されたコースになります。コース新設に当たり、当研究所にて、全体カリキュラムの設計や運営について全面協力を行いました。当研究所からは、今村文彦所長・教授（津波工学研究分野）、丸谷浩明副所長・教授（防災社会推進分野）、佐藤翔輔准教授（同左）、橋本雅和助教（災害ジオインフォマティクス研究分野）が講師を務めました。教員による講義のほか、2019年台風19号の災害対応経験を、宮城県内の行政職員（県職員2名、市町職員2名）から体験談として紹介するコマも設けられました。

受講生の方は、「最近の事例紹介としてトンガ火山噴火による津波も交えながら、今後の防災のあり方を考えることができた」「業務継続計画や災害時の民間との連携について知ることができた」「体験談をもとに、東北各県から集まった県や市町村の受講者の方々と意見交換を行うことができ、大変有意義だった」と大変好評をいただきました。本コースは、次年度も開設予定です。

【カリキュラム】

1月19日（水）

- 13:30-15:00 「東日本大震災10年を経て今後の防災のあり方—最近の自然災害の動向—」
講師：今村文彦 教授
- 15:10-17:00 「風水害等に対応する基本的防災制度及び平常時の備え」
講師：丸谷浩明 教授

1月20日（木）

- 9:00-12:00 「災害時の地方自治体と国、他自治体、民間との連携」
講師：丸谷浩明 教授
- 13:00-16:00 ワークショップ「被災自治体（県）の経験を聞く・学ぶ」
宮城県 伊藤哲也氏、板橋治氏
コーディネーター：佐藤翔輔 准教授

1月21日（金）

- 9:00-10:20 「近年の風水害とその気象条件」
講師：橋本雅和 助教
- 10:40-12:00 「災害廃棄物について」
講師：東北地方環境事務所 草刈耕一氏
- 13:00-16:00 ワークショップ「被災自治体（市・町）の経験を聞く・学ぶ」
大郷町 浅野辰夫氏、大崎市 齋藤健治氏
コーディネーター：佐藤翔輔 准教授



今村文彦教授



丸谷浩明教授



会場の様子



体験談講話の様子



質疑応答の様子



グループワークの様子